

## 研究会企画書

研究会名称：評価研究会（化学物質総合評価研究会）

提案者：金城徳幸

### 研究の目的

REACH 規則案や OECD 化学物質プログラムの動向を調査しつつ、ハザード評価・曝露評価及びリスク評価の実務について事例研究を行う。加えてこの経験を踏まえ、これら実務の円滑な実施に必要なデータベースの構築、方法論の整備、人材の育成・体制の整備などに関する見解をまとめ、社会に提言する。

### 計画の内容

- ① リスクアセスメントに係る実務の事例研究  
GHS・SIDS によるハザード評価、曝露シナリオ方式による曝露評価及びリスク評価書の作成などの実務を会員ニーズによって事例研究し、課題と改善方策について考察。
- ② 各種データベースの構築  
標準曝露シナリオやハザード項目別評価指針などの方法論の整備および基礎情報・データベースの構築など、事業者によるリスクアセスメント実施に必要な支援体制について考察。
- ③ 人材の育成・組織体制のあり方の検討

以上